

大岡 頼光 ゼミ

教員の研究関心領域

比較福祉国家論、特に「人生前半の社会保障」の比較。

4年までのテーマ・方針・内容

テーマ: 日本がめざすべき福祉システム。方針: 自主性。自分で研究テーマを決めること。内容: 以下は例。
(1) 家族だけの介護は無理。だが家族だけで介護し、被介護者を家族が殺す事件が統発。どうすればいい？
(2) 公的介護を支えるには次世代の労働力が必須。どんな人生前半の社会保障が必要？ 特に高等教育の奨学金政策等。
(3) 介護も教育も日本は家族の責任。だが社会や国家の責任と考える国も。発想の違いはなぜ？ 背景の文化や宗教を追究。
(4) 働かなくても無条件に所得を保障するベーシック・インカムの可能性を、若者基礎年金や相続の問題とからめながら考察。

卒業論文のタイトル例

「少子化対策としての大学教育無料化」
「高齢者虐待防止法から考える閉ざされた虐待問題への支援」
「医療過誤と医師不足の相互関係——日本が参考にできること」
「多文化共生——国際化への理解と在日外国人の社会保障」
「過酷な世界のこどもたち——ストリートチルドレンを通して知る世界の貧困問題」

成績評価 基準・方法

(1) 発表・発言重視。だれでもすぐわかるような表現、説明を評価。(2) 各期末のゼミ論(2年8千字、3年1万2千字)が必須。深く調べた上での、わかりやすい表現を評価。そうでないと、徹底した書き直し。

自己紹介 こんな学生を歓迎

卒業後しばらく会社で働きましたが、卒論を書けなかったのが、上司へのレポート作成に苦労しました。学生の間にならったことを、みなさんに伝えたいと思います。社会学は、自分の疑問や身近な不思議な出来事を深く追求して研究できる面白い学問です。自分の経験について、はっきりとは言葉にできない問題を感じている人。それを社会学という道具を使い、深く考えてみたい人。そういう人を歓迎します。

演習Ⅰ テーマ: 問題の発見

内容 スケジュール

春学期は福祉国家論の文献を読み、各自が取り組みたい問題を見つけることをめざす。
夏休み中に自分の仮テーマを決め、レポートを書いてもらう。

その他

テキストは未定だが、福祉国家論の文献を予定。ちなみに前回は、宮本みち子『若者が無縁化する——仕事・福祉・コミュニティでつなぐ』岩波新書。

演習Ⅱ テーマ: 問題設定とその検証

内容 スケジュール

演習Ⅰをつうじ各自が興味を持った問題について、最新の研究状況についてレジュメを作成し発表する。発表では、問題設定、仮説、資料収集、検証の流れを明らかにし、口頭でのコメントの仕方と応答の仕方を学ぶ。発表の内容をふまえてゼミ論を作成する。

その他

演習Ⅲ テーマ: 卒論執筆

内容 スケジュール

最低5回の報告・発表を行う。
春学期: (1) 3年生までの研究の報告 (2) 卒論のテーマと研究計画の発表
秋学期: (3) 卒論の概要と目次案の発表 (4) 卒論の草稿の発表 (5) 卒論発表会(演習Ⅰ・Ⅱと合同)

その他